

野菜の生育状況及び価格見通し（平成27年10月）について
（東京都中央卸売市場における主産地及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況
根 菜 類 (だいこん及びにんじん)	生育は順調。
葉 茎 菜 類 (はくさい、キャベツ等)	はくさい及びほうれんそうの生育は順調。 キャベツは、8月下旬以降の気温低下等の影響により、生育低下が発生。 ねぎは、7月上旬以降の少雨の影響により、細身傾向。 レタスは、8月下旬以降の気温低下及び降雨の影響により、生育低下が発生。
果 菜 類 (きゅうり、なす等)	きゅうりは、8月中旬以降の降雨及び8月下旬以降の気温低下の影響により、着果不良等が発生。 なすは、8月下旬以降の気温低下等の影響により、肥大不足等が発生。 トマトの生育は順調。 ピーマンは、8月上旬の高温、8月下旬以降の日照時間の減少等の影響により、樹勢が低下。
土 物 類 (ばれいしょ、さといも及びたまねぎ)	生育は順調。

（各論）

品 目	主産地 ※（ ）書きは 昨年10月の 入荷シェア	今 後 の 生 育 及 び 出 荷 見 通 し	価格見通し (平年(直近5か年平均)比)	
			10月前半	10月後半
だ い こ ん	北海道(32%) 青 森(30%) 千 葉(24%)	・ 北海道、東北及び関東の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
に ん じ ん	北海道(92%)	・ 北海道の産地において、生育が順調であることから、出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移

はくさい	長野(72%) 茨城(18%)	<ul style="list-style-type: none"> 前月は、<u>主要な産地</u>において、<u>8月下旬以降の気温低下等の影響</u>により、<u>生育低下が発生</u>したことから、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は高値で推移</u>。 10月前半は、<u>主要な産地</u>において、<u>生育が順調</u>であることから、<u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u>する見込み。 なお、10月後半は、<u>生育が順調</u>であり、<u>出荷数量も十分</u>と見込まれるが、<u>直近5か年において安値で推移</u>したため、<u>価格の直近5か年の平均比</u>では、<u>高値水準</u>となる見込み。 	平年並みに回復	高値水準で推移
キャベツ	群馬(51%) 千葉(21%) 茨城(10%)	<ul style="list-style-type: none"> 前月は、<u>関東の主要な産地</u>において、<u>8月上旬の降雹^{ひょう}、8月下旬以降の気温低下等の影響</u>により、<u>生育低下が発生</u>したことから、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は高値で推移</u>。 10月前半は、<u>関東の主要な産地</u>において、<u>出荷数量、価格ともに回復傾向</u>であるものの、<u>前月までの気温低下による生育低下の影響が残ること</u>から、<u>価格は平年を上回る見込み</u>。 10月後半は、<u>関東の主要な産地</u>において、<u>10月後半の出荷分の生育が順調</u>であることから、<u>出荷数量、価格ともに平年並みに回復</u>する見込み。 	高値水準で推移	平年並みに回復
ほうれんそう	群馬(40%) 栃木(17%) 茨城(15%)	<ul style="list-style-type: none"> 関東の産地において、<u>生育が順調</u>であることから、<u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移</u>する見込み。 	平年並みで推移	平年並みで推移
ねぎ	青森(25%) 北海道(15%) 秋田(14%) 山形(10%)	<ul style="list-style-type: none"> 前月は、<u>東北の産地</u>において、<u>7月上旬以降の少雨の影響</u>により、<u>細身での出荷となったこと</u>から、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は高値で推移</u>。 10月前半は、<u>東北の産地</u>において、<u>出荷数量、価格ともに回復傾向</u>であるものの、<u>引き続き細身での出荷となる見込み</u>であるため、<u>価格は平年を上回る見込み</u>。 10月後半は、<u>東北の産地</u>において、<u>天候が順調に推移すれば、出荷数量、価格ともに平年並みに回復</u>する見込み。 	高値水準で推移	平年並みに回復

レタス	茨城(57%) 長野(29%)	<ul style="list-style-type: none"> 10月は、産地が関東の高冷地から平地に切り替わる時期。 前月は、<u>関東の高冷地の産地において、8月下旬以降の気温低下及び降雨の影響により、生育低下が発生したこと</u>から、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は高値で推移。</u> 10月は、<u>関東の高冷地の産地において、前月までの生育低下の影響が残ることに加え、関東の平地の産地において、8月下旬の気温低下及び9月上旬の降雨の影響により、出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準 で推移	高値水準 で推移
きゅうり	埼玉(23%) 群馬(21%) 福島(16%) 茨城(12%)	<ul style="list-style-type: none"> 10月は、産地が東北から関東に切り替わる時期。 前月は、<u>東北の産地において、生育期の8月中旬以降の降雨及び8月下旬以降の気温低下の影響により、着果不良等が発生したこと</u>から、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は高値で推移。</u> 10月前半は、<u>関東の産地において、出荷数量、価格ともに回復傾向であるものの、前月までの着果不良等の影響が残ること</u>から、<u>価格は平年を上回る見込み。</u> 10月後半は、<u>関東の産地において、生育が順調であるため、天候が順調に推移すれば、出荷数量、価格ともに平年並みに回復する見込み。</u> 	高値水準 で推移	平年並み に回復
なす	高知(28%) 栃木(22%) 群馬(17%) 茨城(16%)	<ul style="list-style-type: none"> 10月は、産地が関東から四国に切り替わる時期。 前月は、<u>関東の産地において、8月下旬以降の気温低下等の影響により、肥大不足等が発生したこと</u>から、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は高値で推移。</u> 10月は、<u>関東の産地において、前月までの肥大不足等の影響が残ることに加え、四国の産地においても、8月下旬以降の日照時間の減少等の影響により、樹勢が低下したこと</u>から、<u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準 で推移	高値水準 で推移
トマト	千葉(24%) 茨城(16%) 福島(13%)	<ul style="list-style-type: none"> 関東の産地において、<u>生育が順調であること</u>から、<u>出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。</u> 	平年並み で推移	平年並み で推移
ピーマン	茨城(57%) 岩手(17%)	<ul style="list-style-type: none"> 前月は、<u>関東及び東北の産地において、8月上旬の高温、8月下旬以降の日照時間の減少等の影響により、樹勢が低下したこと</u>から、<u>出荷数量が平年を下回ったため、価格は高値で推移。</u> 10月は、<u>関東及び東北の産地において、前月までの樹勢低下の影響が残ること</u>から、<u>出荷数量が平年を下回るため、価格は平年を上回る見込み。</u> 	高値水準 で推移	高値水準 で推移

ばれいしょ	北海道(99%)	・ <u>北海道の産地</u> において、 <u>生育が順調</u> であることから、 <u>出荷数量、価格ともに</u> 平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
さといも	埼玉(52%) 千葉(25%)	・ <u>関東の産地</u> において、 <u>生育が順調</u> であることから、 <u>出荷数量、価格ともに</u> 平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移
たまねぎ	北海道(95%)	・ <u>北海道の産地</u> において、 <u>生育が順調</u> であることから、 <u>出荷数量、価格ともに</u> 平年並みで推移する見込み。	平年並み で推移	平年並み で推移

注：「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。